

平成 28 年 5 月 1 日

東京都済生会中央病院を救急受診された方へ

臨床研究「救急データベース標準モデル案の作成とデータ活用」について

救急診療科 部長 関根 和彦

東京都済生会中央病院 救急診療科では「救急データベース標準モデル案の作成とデータ活用」という臨床研究を行っております。この研究は、救急に関する課題を抽出し、救急患者の受入向上や質の向上に向けての救急診療の現状を調べることを主な目的としています。

○この調査研究は東京都済生会中央病院 倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

○この調査研究は、東京都済生会中央病院が中心となって、他の済生会病院4病院（済生会宇都宮病院、済生会滋賀県病院、済生会下関病院、済生会横浜市東部病院）との共同研究となっています。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化を行い、個人情報に関しては厳重に管理します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○この調査研究は、済生会医学・福祉共同研究の研究費で行われており、特定の企業・団体等からの支援を受けているものではありません。

本研究への参加を希望しない方は、お手数ですが下記まで連絡ください。

【研究責任者】

済生会中央病院 救急診療科 関根 和彦

T E L : 03-3451-8211(代)

この調査研究は、今後の医療の発展に資するものですので、ご理解ご協力の程、何卒、よろしくお願いいたします。

